

富山大学日本文学研究

第 8 号

信仰としての文学教育 西田谷 洋... 1
——学会が全体主義に奉仕するとき

書評
西田谷洋著『女性作家は捉え返す 女性たちの物語』 千 田 洋 幸... 17

西田谷洋著『物語の共同体』 宮 崎 靖 士... 21

2021年12月

富山大学人間発達科学部日本文学会

富山大学人間発達科学部日本文学会会則

『富山大学日本文学研究』の投稿・査読

第一条 この会は富山大学人間発達科学部日本文学会と称し、

事務局を富山大学人間発達科学部日本文学研究室（富山県富山市五福三一九〇）に置く。

第二条 この会は会員相互の協力により、日本文学研究を進めることを目的とする。

第三条 この会は前条の目的の達成のために次の事業を行う。

1 研究発表会、公開講演会などの開催。

2 機関誌などの刊行

3 その他、会の目的の達成に必要なと認められる事項。

第四条 この会の設立の趣旨に賛同する富山大学人間発達科学部日文学分野の教員および在学生、院生、卒業生、修士生をもって会員とする。その他、この会の設立の趣旨に賛同するものをもって会員とする。

第五条 前条の会員は一般会員及び維持会員で組織する。

について

本会では次の要領で会員の日本文学・日本文化に関わる論文投稿を受け付けています。

枚数一〇～三〇枚

電子データによる入稿（一太郎もしくはWord）

投稿希望者は前年度三月末までに申し出てください。

掲載の方には本誌五部を謹呈いたします。

投稿論文の採否については、以下の審査方法をとります。二名の編集委員が査読し、編集委員会で審議し、以下の採否を決定します。

A 採用（字句・表現の修正を求める場合もある）

B 条件付き採用（改稿を求めるコメントをつけ再審査する）

C 不採用（コメントをつけ、次号以降への再投稿を促す）

D 不採用（コメントをつけない）

編集委員：近藤周吾・武田裕司・西田谷洋・牧千夏・宮城信

編集後記

『富山大学日本文学研究』第八号をお届けする。

人間発達科学部は、来年度から金沢大学との共同教育課程を設置する改組によって教育学部に回帰することになった。これによって、中学校・高等学校国語免許が学部単独で出せることになった。一方、共同教育課程はこれまで以上に困難な課題も抱えているように見える。少しずつ、問題を解決・改善していきたい。

本号では、論文一本、書評二本を掲載できた。ご寄稿いただいた皆様には感謝申し上げます。また、ご批評をお願いしたい。

富山大学日本文学研究（第八号）

二〇二二年二月二〇日 印刷

二〇二二年二月二五日 発行

発行者 富山大学人間発達科学部日本文学会

（代表 西田谷 洋）

発行所 九三〇―八五五五 富山市五福三一九〇

富山大学人間発達科学部西田谷研洋研究室

〇七六一四四五―六三〇八

印刷所 五〇一―二五一七

岐阜市三輪ぷりんとびあ3

株式会社 コームラ

〇五八一二二九―五八五八